



2022.11

三二
情報

オウサマペンギンの抱卵

ポーラーアドベンチャーの「ペンギンの岬」で、今年もオウサマペンギンが産卵しています。オウサマペンギンは巣を作らず、卵を足の甲に乗せ、お腹の皮膚をおおいかぶせて温めます(抱卵)。抱卵はペア同士で交代しながらおよそ55日続きますが、この間に卵が割れてしまうことがあるため、偽の卵と取り換え、温度と湿度を調節した専用のふ卵器に移して温めます。ヒナが殻を破る「ハシウチ」が始まると親鳥に卵を戻してふ化をさせます。

Kamogawa
SEAWORLD